

助成事業実施報告書

団体名.....特定非営利活動法人 夢舞台

代表者・役職名 氏名.....代表理事 新井秀親

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

自立援助ホーム移転に伴う新ホームの自動消火装置の設置事業

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2010年、NPO法人青少年の自立を支える埼玉の会「だいさんの家」閉鎖に伴いリニューアルオープンとして「夢舞台」として開所。

2012年、定員6人より8名へと増員。

2014年、発展的独立としてNPO法人青少年の自立を支える埼玉の会よりNPO法人夢舞台となる。

2017年、認定NPO法人認証。

2018年、川越移転。

2019年3月現在、会員数：正会員15名、賛助会員76名

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

自立援助ホームは事業の性格上、個室においても家事の危険性をはらんでいる。加えて夜は職員体制が薄くなることもあり、火事が発生した際に8人の利用者の命を確実に守るためには、自動消火器の設置が必要であると考えます。

夢舞台は、より包括的な支援の提供を目指し、4月より県内有数の都市川越市に移転する。土地建物の購入のために5,000万にも及ぶ多大な借入金を背負い、新規ホームの立ち上げに至った。これ以上の借入金は事業の安定した継続や利用者の生活を脅かしかねない。新規ホームにて利用者・職員双方の命を守り、安定して生活していただくために、ぜひとも自動消火装置を設置し、防災に勤めていきたいと考えている。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

居室及びキッチンの自動消火装置の設置。

特に火元の原因となる箇所(キッチン1か所)及び生活者(居室4か所)の安全を最優先として設置場所を検討。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

助成していただいた自動消火装置が直接的に利用者への変化、成果として伝わる部分は認められないが、何より支援者(以下、スタッフ)側の安心を効果とするならば、還元成果は絶大であると考えている。
目的と背景にも記させていただいたが、日々の生活の中で何が起こるか分からない不安(自立援助ホームの事業の性格上、特に火災)を抱えながら365日共に生活しているスタッフが緊急時、8名の命を守る責任を担っている。宿直1名で抱える不安と共に生活する中で、この度助成金で設置させていただいた自動消火装置は、我々スタッフに大きな安心を与えていただいた。今後、日々の生活の中において不安に怯えることなく大胆に処遇効果をあげられるのではないかと期待している。

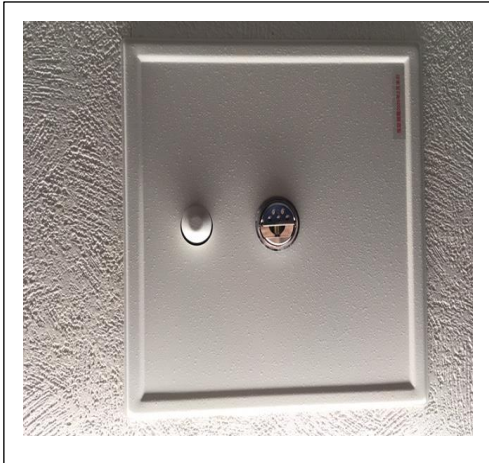
6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

この度、5か所(キッチン1か所、居室4か所)の設置を優先的に行わせていただいた。実質利用者の居室が8部屋あるうちの4部屋を完了した。今後、継続して全13箇所、残り8か所も順次進めていきたい。

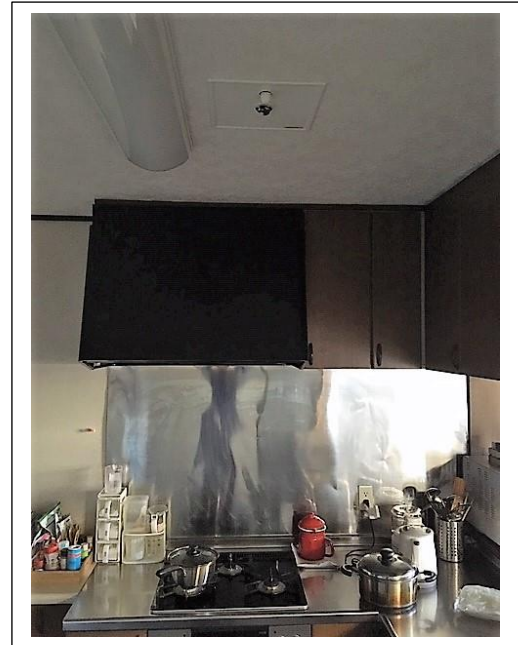
7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし



自動消火装置ケスジャン
天井をくり抜き、消火剤を設置する。
70度の熱に反応し消火剤を噴射。
10年取り換えが目安となっている。



キッチン上に設置。



未設置の居室天井



設置済みの居室天井。
利用者からも生活の邪魔になることは
全くないとの声。
安心に関しては真剣に受け止めきれて
いないが、スタッフ陣は大きな安心。